

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2971400201		
法人名	社会福祉法人 信愛会		
事業所名	グループホーム グレース(西)		
所在地	奈良県生駒郡平群町越木塚336-1		
自己評価作成日	平成21年12月1日	評価結果市町村受理日	平成22年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2971400201&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成22年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは豊かな自然に恵まれ高台にあり、隣には、同法人が運営する老人ホームがあり重度化への安心へとつながっています。ホーム内は明るくゆとりがあり、利用者は、それぞれのペースで穏やかに生活して頂く様、職員は運営理念を大切に支援して頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

信貴山に向かう丘陵地帯の中ほどに、法人の施設に併設された自然豊かなホームです。職員で思いを出し合い検討して作られたホーム理念を「その人らしさを目ざして」と定め、東西のユニットで作られた具体的な支援目標とともに掲げられ支援されています。地域のとの繋がりの中で多くのボランティアの力を借り、行事が展開されています。利用者の笑顔が多く見られる行事やイベントの様子は、写真にしてリビングに掲示され、思い出を再確認されています。開設当初より毎月行われてきた絵手紙教室は、機能の低下があってもしっかりと描かれた絵手紙となってホームの玄関を飾り、季節が感じられています。絵手紙はホームや居室に飾るだけでなく、友人や家族にも送られ、今までの関わりの継続に繋がっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている		ホーム理念は、職員が思いを出し合い検討し「その人らしさを目指して」とされています。理念に沿って、ユニット毎に具体的な支援目標を定め、利用者の日々の笑顔とともに、地域にも働きかけ理念に沿った支援を心がけています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会やその他の行事の際に地域のボランティアさん等にも参加して頂き交流を深めている。	周辺に住環境が無い立地条件の中で、ホームの働きかけや口コミを通じ、地域のボランティアとの関わりを持っています。周辺の商店や道の駅等に出かけるなど交流を心がけています。また小学校の運動会に参加したり、中学生の課外事業の生徒の受け入れなどが行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	不十分であるが今後地域との関係づくりをすすめるサービスに活かしていきたい。	昨年6月に第一回目の運営推進会議が行われ、地域住民代表、民生児童委員、町役場担当職員、地域包括支援センター職員、利用者、家族の参加がありました。初回とあってホームを知って頂くことに重点を置き報告を行っています。今後の運営推進会議の開催に向けて現在模索されています。	次回の運営推進会議の開催に向けて、家族や行政、地域役員などの協力を得ながら、継続される事が期待されます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から連絡を取り合い、協力関係得られている	役場担当者や地域包括支援センターと困難事例や連絡事項など頻りに連絡を取り合っています。行政からも研修情報などもあり、何かあれば相談や問い合わせを行いながら協力体制が構築されています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	資料を用い、各スタッフに身体拘束についての研修をすすめる、日々の介護に意識的にサービスをすすめるようにしている。	家族の依頼で転落防止のためにやむなく車椅子の安全ベルトを使用した事がありますが、現在は行っておらず職員は身体拘束を行わないケアに努めています。また法人による研修を行い資料の回覧や伝達研修で、理解と周知を図っています。玄関の施錠については、問題が無い限り日中は行わない事としています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	意識を持ってサービスに努めるよう行っている。		

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新人スタッフが多い為、今後理解していくようにしていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	介護の際に十分な説明を行い、理解してもらえるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族交流会の機会等にアンケート調査を行い、意見、要望を聞き、反映している。	夜勤帯や入浴時等に利用者とはゆっくり語り合う機会があり、意見や思いを聞くようにしています。利用者家族にアンケートを取っており、出された意見を職員会議で検討を行っています。今後は家族へのアンケート結果の報告を行う予定です。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関し、もう少し現場スタッフの意見を反映していく必要がある。	毎月行われる職員会議で意見や提案を出し合い、申し送り時にも出された意見によっては会議を延長して検討を行っています。管理者は常に職員の様子に気を配り悩みや訴えに耳を傾けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パートスタッフへの職員への正規職員への雇用等が課題である。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修への取組や内部、外部研修への参加にも積極的に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	十分にはできておらず今後の課題である。		

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安全に安心して生活して頂ける様、スタッフで話し合い信頼関係を築く様、努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分に意見や希望を聞くようにして関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意見を取り入れ、必要に応じアセスメントを行い、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人らしい生活ができる様、関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の気持ちも尊重、理解を深めながら支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族さんや関係者との面会等、積極的にすすめている。	開設当初は利用者の友人や在宅時のヘルパーの訪問など頻回であったが、経年の中で減少しています。利用者の希望による嗜好品や衣類の買物では馴染みの店に出かけています。ホームでは、利用者の描かれる絵手紙を、家族や友人宛てに出すようにするなど絆の継続に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中はできるだけフロアに出て一緒に過ごして頂いたり、食事を一緒にして頂く等支援している。		

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人個人の尊重に努めている。	日々の会話や表情の中から思いを汲み取ったり、家族の聞き取り等を通じて得た情報を記録しています。アセスメントシートはホーム独自のものを利用し、申し送りや引き継ぎなどの記録を通じて意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できるだけ本人の好みにあった生活に向けて努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の日頃の状態を把握し、心身の状況の変化に対応したケアをすすめている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングの中で一人一人の生活について話し合い、参考にして作成している。	利用者や家族の希望をもとに職員会議を行い、意見の収集を図りカンファレンスを開き、ケアプランを作成しています。ケアプランは6ヶ月に一度、モニタリング、評価し見直されています。またケアプランを日々の支援に反映できるように利用者毎のサービス実施マニュアルを作成し、ぶれないケアの実践に役立てています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や介護記録を皆で共有して記録してケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	GHで生活困難になった利用者へ特養への入所の検討をすすめる等の支援を行っている。		

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来る限り生き甲斐を持てる様、支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれのかかりつけ医との連携、協力体制を作って支援している。	入居時にかかりつけ医の希望を聞き、利用者や家族の希望に沿ったかかりつけ医を継続され、緊急搬送先の希望も聞いています。何かあればそれぞれのかかりつけ医に連絡し、指示を仰いでいます。協力医の往診も定期的により、適切な医療を受けることができています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職と連携を持って介護をすすめ支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族さんと連携を持ち、対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	できるだけ長く可能な限りGHで生活出来る様、家族さんともかかりつけ医と相談しながら取り組んでいる。	契約時には、食べられなくなったり、常時医療が必要となった時を基準として、出来る事と出来ない事を伝え理解を得ています。訪問看護や医師の往診等を利用しながら、終末期近くまでの対応の経験もあり、個々の状況に合わせて家族の意向や協力の基に職員と共に支援を行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル等は備え付けているが応急手当や対応については訓練の機会必要。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は定期的実施している。	年に一度法人の行う消防署立ちあいの防災訓練に参加しています。また、ホームとして年に2回避難訓練を行っていますが、昼間の訓練にとどまっています。	法人の訓練に参加したり、ホーム独自の訓練を重ねておられますが、夜間想定訓練の企画を運営推進会議の中で提案し、協力依頼されては如何でしょうか。

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の尊重にスタッフ全員で取り組んでいる。	利用者の尊厳は、理念にも掲げ遵守するよう位置付けています。大きな声ではなく、耳元での声かけを行うなど配慮しています。個人記録は鍵のかかる書庫に保存しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ本人の意見を尊重し、本人らしい生活して頂ける様、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ利用者個人のペースを尊重してサービスに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着衣や身だしなみ、整髪等の支援に注意している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人個人にあった食事の支援行っている。	法人の施設から三度の食事が運ばれて来ます。月に一度カレーの日にはホームで利用者の手を借り作っています。開設当初利用者は手伝う事が出来ていましたが、機能低下がみられるため箸やおしぼりを配るなど出来る範囲で手伝わられています。職員はお弁当やホームの食事を注文するなどして、利用者共に食事を楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量のチェックや嚥下の悪い利用者への配慮等、食事への支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや義歯の洗浄等、個人個人に合った支援を行っている。		

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できるだけトイレで排泄して頂ける様、排泄リズムを把握し、自立に向けて支援している。	自立であっても援助が必要な利用者であっても、職員はさりげない援助を行い自信と自立の継続に繋げています。表情を見ながらトイレ誘導を行ったり、排泄チェックリスト等でパターンを見計らい声かけを行うこともあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や散歩等の運動をして頂く等、毎日チェックしながら対応している。又、週2回のペースで主食に玄米食を提供する事も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一応入浴日は決めているが、個人個人希望や必要に応じ入浴できるよう支援している。	週2~3回の入浴支援を心がけています。入浴剤の利用や菖蒲湯やゆず湯にするなど季節に応じた支援をしたり、個別の石鹸をするなどの工夫を行っています。希望があれば毎日の入浴も可能で、土曜日は自由に入れる日となっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるよう環境を整える等支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医や薬剤師とも連携を持ち、支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人に合わせた対応に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に応じ受診したり、買物に行ったり皆で外出レクリエーション等も行い、支援している。	利用者の要望に応じて近くの商店に出かけたり、何人かで道の駅で買い物を楽しむ等、出かける機会を見つけています。時には遠出の希望にも対応しています。季節の花見やミカン狩りなど家族の協力を得て出かけ、帰りにはレストランでの外食など楽しみ事の企画が行われています。	

グループホームグレース(西)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御自分で管理できる方には自分で持って頂き、そうでない方へは事務所で預かり本人の希望に沿った支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を利用して頂いたり、ハガキ等のやりとりの支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者さんの写真や作品等も展示し、家族さんにも日常の様子がわかりやすい様、工夫している。	窓から低い山を遠景に木々が絵画の様に見え四季の移ろいを感じられます。ソファや椅子がたくさん並べられ、利用者は好みの場所で寛ぐ事が出来ます。行事写真はじめ、利用者の描かれた絵手紙や習字の作品などがたくさん掲示され楽しみの思い出となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファとテレビあり、時にはカラオケ等、もできる様、支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人個人の好みや希望を取り入れてすごして頂いている。	和室と洋室があり、居室に応じたチェストや机が設置されています。炬燵を置いたり、机でかき物をされたり、それぞれのライフスタイルの継続がなされ、仏壇や家族写真等思い出の品や人形などが利用者の癒しとなっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの位置等、できるだけわかりやすい工夫して安全に過ごして頂いている。		